

SBDBT シリーズ用  
「Bluetooth Low Energy セントラル側スキャンサンプルプログラム」

## 簡易取扱説明書

### 概要

このプログラムは、SBDBT/SBDBT5V/SBXBT/SBRBT-S/SBRBT-R に USB Bluetooth 4.0 アダプタを接続し、周囲にある BLE ペリフェラル機器が出力するアドバタイジングパケットを受信し、UART にアドレス、アドバタイジングデータ、RSSI 値を出力します。

スキャン方式はパッシブスキャンとアクティブスキャンを選択することが出来ます。

### 使用方法

SBDBT/SBDBT5V 用にはバイナリ(HEX)ファイルを公開していますので、まずはそれを書き込むことで動作を確認できます。

それ以外の基板を使用する方はソースファイルの global.h の以下のいずれかのマクロを 1 に設定してコンパイルしてください。

```
BOARD_SBDBT  
BOARD_SBDBT5V  
BOARD_SBXBT  
BOARD_SBRBT  
BOARD_SBGRBT
```

デフォルトではアクティブスキャンを行うように設定されていますが、パッシブスキャンに切り替える場合は global.h の以下のマクロを 0 に変更してください。

```
BLE_ACTIVE_SCAN
```

UART のピンアサインは SPP ファームウェアと同じです。SPP ファームウェアと同じように PC 等と接続し、ターミナルソフトなどで出力される文字列を確認して下さい。

デフォルトでは出力ボーレートは 115200bps、フロー制御はなしになっています。変更する場合は global.h の以下のマクロを修正してください。

```
BAUDRATE1
UART1_HW_FLOW
```

テキスト形式で出力されるので、ターミナルソフトなどでご確認下さい。  
出力内容をカスタマイズされる場合は、ble\_server.c の send\_rssi 関数をカスタマイズしてください。

### その他

ご不明な点がございましたら、お問い合わせフォームかサポート掲示板にお気軽にお問い合わせください。

<http://www.runele.com/>

### 変更履歴

2014/04/25

初版 パッシブスキャンのみ

2015/03/27

機能追加

- パッシブスキャンとアクティブスキャンを global.h のマクロで切り替えられるようにしました。

(BLE\_ACTIVE\_SCAN=0 でパッシブ、BLE\_ACTIVE\_SCAN=1 でアクティブ)

- イベントタイプ/アドレスタイプ/データ長/データを追加でシリアル出力するようになりました。

(アクティブスキャンで返ってきたデータはイベントタイプが ADV\_SCAN\_RSP となります。)

- 出力データが増えたのでデフォルトのボーレートを 115200bps としました。
- MPLAB X のプロジェクトを追加しました。